

女性の教養と新聞

宮本百合子

青空文庫

現実を、その様々な相互関係、矛盾の内外につき入って具体的に理解する實力、そしてそれらの間に在る自身の居り場所とその意味を把握して生きる力を教養であるとして考えて見ると、今日の日本の新聞は、そういう意味では一般に女性の教養を高める役には大して立っていないのではないかと思う。全体的に見て、今日の新聞そのものの性質が、明治初年の天下の公器としての自由性を失われているのであるから、現象的にニュースの断片を注ぎ込まれ、物価騰貴とその末葉のやりくりを知らされても、事象の本源までは新聞では迎^{とて}も分らなくなつて来ている。

婦人欄の扱いかななどは、近頃各紙とも相当苦心の跡が見える。写真の使い方、見出しのつけ方等、時に澆刺とした印象を与えるが、概して記事の範囲、深さは婦人雑誌から遠くも広くもなり難いらしい。昔、婦人欄は主として婦人記者であつたけれども、この頃はそういうことが減つて大体は男の記者でやられている。婦人欄などの狙っている面白さとそのこととの間に、なにか微妙な関係のあることが感じられるのである。

『読売新聞』夕刊につく重宝欄は、おそらく大抵の女のひとに一応は読まれているであろう。だがああいふものは、教養とは凡そ反対の社会相を反映するものだと思う。今日の世

の中で、体裁よい小市民生活をやりくつてゆくためには、家庭の女がどんなせつぱつまつた事情の裡に追いこまれて来ているか、また、女が眞の生活力としての教養を身につける機会がいかに少く困難であるかという社会的条件を語っている。

身の上相談では、わが身の上の苦しさを訴える女のひとの立場と、それに解答を与える女のひと達の立場とが、相対的に今日おかれている日本の女の社会性の内容、水準等を、おのずから読者の前に披瀝しているのである。読物として各紙が飽きずそれを掲載している理由も、そういうところにあるのだろう。けれども、読者として私たちは屢々しばしば疑問を感じることもある。何故なら、身の上相談の答えというものの十中八九は、率直に云つてお座なりである。解決らしい解決、説明らしい説明は極めて少い。それで質問者が果して納得するものであろうかと、寧ろ不思議にさえ思われる。

ところが、いつぞや身の上相談の解答のこつについて興味ある言葉をきいた。それは、どうせ身の上相談に訴えて来るような女のひと達は、生活の上に自主性のない、決断力を欠いている人々である、だから余りはつきり社会的にそれを説明したつて無駄であるし、また余りきつぱりした処置を示したところで却つて喜ばず、新聞社としてもそういう解答は歓迎しない、まあ、当らずさわらずのところでは納まるような妥協案を示すのが一番であ

るという意味であつた。

この言葉は二重に私の心に感じさせるものがあつた。身の上相談の解答者となる女の先輩達は、そのことによつて或る程度まで自身の社会的名声というようなものをも拡大するのであるが、上述のような世渡りのこつめいたものが必要とされ、結局は、女が同じ女の愚かさで食うということになる。そこには、今日の女の愚かさ低さの上に、その涙の上に資産をつくつている大衆作家の自信ある暮しぶりを眺める時のような、ある心の痛み、憤りがあるのである。

こういう半面に、「婦人の立場から」等には、素朴な表現や視野の不十分な明確さを示しながら、女として今日の社会に対し一般的に感じられている抗議が、案外健全なものと考え方、観かたの方向を暗示して語られている場合が決して尠くない。

折々婦人作家たちが、こういう場面で日常の社会問題を取りあげ、女としての土台から直接的な気持で批判を行っているのは、今日同年輩の男の作家たちの社会時評とは遠い生活態度と対比して、様々の感想を喚びさまされる。

その国の進歩的な婦人作家たちが、その文筆活動の総体の何割を、文学以前の生活的な諸問題の究明のために費さなければならぬかということで、凡そその国の社会情勢が推

しはかれると思う。そして、その必要がどのような自由さで満され得ているかということ
で、その国の進歩性が推しはかれると思う。その点で、日本は今日の支那よりはおくれ
ているのである。

〔一九三七年五月〕

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第十四巻」新日本出版社

1979（昭和54）年7月20日初版発行

1986（昭和61）年3月20日第5刷発行

底本の親本：「宮本百合子全集 第九巻」河出書房

1952（昭和27）年8月発行

初出：「セルパン」

1937（昭和12）年5月号

入力：柴田卓治

校正：米田進

2003年5月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

女性の教養と新聞

宮本百合子

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>